

シスメックスの知財戦略：戦略的技術経営および知的財産ファクトブック 2025-2026

エグゼクティブ・サマリー

本ファクトブックは、体外診断用医薬品(IVD)および臨床検査機器のグローバルリーダーであるシスメックス株式会社(証券コード:6869)の技術経営戦略と知的財産(IP)ポートフォリオに関する包括的な分析レポートである。2025年から2026年にかけての同社は、従来の「検体検査機器メーカー」という枠組みを超えて、予防から診断、治療、予後に至る「ヘルスケアジャーニー(Healthcare Journey)」全体を支えるソリューションプロバイダーへの転換点にある¹。

本レポートの分析によると、シスメックスの競争優位性は、血液凝固検査やヘマトロジー(血球計数検査)における圧倒的なハードウェアシェアと、それを支える「試薬・消耗品ビジネスモデル」を保護する強固な特許網、そして近年急速に拡大しているデジタル・ロボティクス領域への攻撃的なIP投資によって構築されている。特に、主要事業であるヘマトロジー分野においては、世界シェアトップの地位を堅持しつつ、次世代フラッグシップモデル「XRシリーズ」の投入により、競合他社に対する技術的障壁(Moat)をさらに深めている²。

一方で、同社は新たな成長ドライバーとして、手術支援ロボット「hinotori™」、リキッドバイオプシー(OncoBEAM™/SafeSEQ)、および薬剤耐性菌(AMR)対策技術(PA-100 ASTシステム)へのR&D投資を加速させている。これらの新規事業領域では、川崎重工業や理化学研究所、海外スタートアップ(Astrego Diagnostics AB)とのオープンイノベーションを活用し、自社単独では到達困難な技術的ブレークスルーを短期間で実現する戦略を採用している⁴。

財務的観点からは、シスメックスは売上高の約6~7%(2024年度および2025年度実績・予想で約314億円)を一貫して研究開発費に充当しており、この規律ある投資が、売上高の50%以上を占める高収益な試薬ビジネスの持続的な成長を支えている⁶。しかし、ロシュ(Roche)やアボット(Abbott)、ベックマン・コールター(Danaher傘下)といった巨大資本との競争は激化しており、特にAI診断やデータプラットフォーム領域における知的財産権の確保と標準化競争が今後の焦点となる。

本稿では、シスメックスの技術経営を「守り(既存事業の深化)」と「攻め(新規領域の開拓)」の両面から解剖し、経営層が意思決定を行う上で不可欠なインサイトを提供する。

1. 企業戦略とビジョン：ヘルスケアジャーニーの具現化

1.1 長期経営戦略 2033と技術的含意

シスメックスは2033年に向けた長期ビジョンとして「Together for a better healthcare journey」を掲

げている¹。これは、従来の「検体検査(診断)」という一点のみならず、個人の生涯にわたるヘルスケア体験全体に価値を提供することを意味する。

この戦略的転換は、技術経営の観点から以下の4つのドメインへのR&Dリソースの再配分を意味している。

1. 予防(**Prevention**)：疾患の発症前のリスク評価。ここでは、血液中の微量バイオマーカー検出技術や、AIを用いた発症リスク予測アルゴリズムが核心技術となる。
2. 診断(**Diagnosis**)：既存のIVD事業の高度化。特にヘマトロジー、免疫、凝固検査の自動化と高感度化が求められる。
3. 治療(**Treatment**)：個別化医療の実現。コンパニオン診断薬(CDx)による投薬判断支援や、手術支援ロボットによる低侵襲治療の提供が含まれる。
4. 予後(**Prognosis**)：再発モニタリング。リキッドバイオプシー技術を用いた低侵襲かつ高頻度なモニタリング技術が鍵となる¹。

この「ヘルスケアジャーニー」概念は、単なるマーケティングスローガンではなく、開発パイプラインの設計思想そのものである。従来、検査機器は「正確な値を出すこと」がゴールであったが、今後は「その値が患者の治療方針決定(クリニカルパス)にどう影響するか」というアウトカムベースの価値創出が求められている。これにより、特許出願の方向性も、ハードウェアの機構特許から、診断アルゴリズムや治療支援プロセスに関する特許へとシフトしていることが観察される。

1.2 中期経営計画(2023-2025)の実行評価

2025年3月期を最終年度とする中期経営計画は、長期ビジョン実現のための基盤構築フェーズと位置づけられている。従来のローリング方式(2年ごとに見直す方式)から、固定の3カ年計画へと移行したことは、短期的な市場変動に左右されず、長期的視点での大型R&D投資(特にロボットやデジタル基盤)を実行する意志の表れである⁹。

主要な成長戦略と技術的進捗：

- 既存事業の強化：ヘマトロジー分野では、新型フラッグシップモデル「XRシリーズ」のグローバル展開が順調に進んでいる。これにより、先進国市場における買い替え需要の喚起と、新興国市場における自動化ニーズの取り込みが進んでいる⁹。
- 新興国市場での展開：インドやブラジルなど、地政学的リスクや現地生産要件(Local Content Requirement)が高まる地域において、生産拠点の現地化を進めている。これには、単なる組立工場の移管だけでなく、現地ニーズに合わせた製品設計の最適化や、試薬生産技術の移管が含まれており、サプライチェーンの強靭化に寄与している¹。
- 新規事業の拡大：手術支援ロボット事業(Hinotori)の症例数拡大と適応領域の拡張、およびリキッドバイオプシー技術の社会実装が重点課題である。特にHinotoriは、消化器外科や婦人科への適応拡大を果たし、日本国内でのインストールベースを着実に増やしている⁴。

財務的成果との連動：

2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績は、売上高2,425億円(前年同期比14.0%増)、営業利益445億円(同31.6%増)と極めて好調に推移している⁷。為替の追い風もあるが、現地通貨ベースでも試薬売上が二桁成長しており、同社の「インストールベース(機器設置台数)拡大が、高収益な

試薬売上を牽引する」というビジネスモデルが、技術的競争優位によって強固に守られていることを示唆している⁶。

2. 知的財産経営のガバナンスと戦略フレームワーク

シスメックスにおいて、知的財産(IP)は単なる法的保護の手段ではなく、経営資源の中核として位置づけられている。同社は「知的財産活動基本方針」を定め、R&Dおよび事業開発の自由度(Freedom to Operate)を確保し、収益に貢献することをIP活動の目的としている¹⁰。

2.1 IPガバナンス構造

同社のIPガバナンスは、トップダウンの意思決定とボトムアップの発明創出を融合させた構造となっている。

- 知的財産活動推進委員会：R&D部門と事業部門の責任者で構成されるこの委員会は、定期的に開催され、開発ロードマップと連動した出願戦略を策定している。ここでは、どの技術を特許化(公開)し、どの技術をノウハウ(秘匿)とするかの戦略的仕分けが行われる¹⁰。
- 経営層へのレポーティング：知的財産活動の状況や他社との係争リスクは、執行役員会や取締役会に報告される仕組みとなっており、IPリスクが全社的リスク管理(ERM)の一部として統合されている¹⁰。
- IPレビュー制度：製品開発の各ゲート(企画、設計、量産試作など)において、他社特許の侵害リスクを評価する「IPレビュー」が社内規定で義務付けられている。これにより、製品上市後の差し止めリスクを最小化している¹⁰。

2.2 発明報奨と人材育成

「シスメックスウェイ」に基づく企業文化は、技術者の発明意欲を高める仕組みにも反映されている。

- 実績補償制度：出願時の報奨金に加え、その特許が実際の製品に採用され、事業収益に貢献した場合、あるいは他社へのライセンス供与によって収益を生んだ場合に、実績に応じた報奨金が支払われる制度を導入している¹¹。
- 階層別教育：新入社員から熟練技術者に至るまで、キャリアステージに応じたIP教育プログラムが体系化されている。これにより、エンジニア自身が「特許になる発明」と「回避すべき他社権利」を理解するリテラシーを持っていることが、同社の強みである¹¹。

2.3 ビジネスマネジメントとしてのIP戦略

シスメックスの収益の柱は、機器販売後の試薬・消耗品によるリカーリングビジネスである。このモデルを持続させるため、同社は「カミソリと替え刃」モデルを法的に保護する徹底した知財戦略を実行している。

- 試薬容器とICタグの特許化：試薬の化学組成だけでなく、試薬容器の形状や、容器に付随する情報記録媒体(RFIDタグやQRコード)と分析装置との通信プロトコルに関する特許を多数保有している。これにより、サードパーティ製の安価なジェネリック試薬が使用されることを技術

的・法的に排除し、純正試薬の使用率を維持している¹²。

- 意匠権の活用：機器のデザインやGUI(グラフィカルユーザーインターフェース)、試薬ボトルの形状について、グローバルで意匠権を取得し、模倣品の市場参入を視覚的側面からも阻止している¹⁵。
 - 模倣品対策：特に中国や東南アジアなどの新興国市場において、模倣試薬が出回るリスクに對しては、専任チームが監視を行い、権利行使による排除を行っている¹⁵。
-

3. コアドメインの技術詳細分析

3.1 ヘマトロジー(血球計数検査)：絶対王者の城壁

ヘマトロジ一分野において、シスメックスは世界市場シェアの50%以上を握ると推定される「絶対王者」である。この地位を盤石にしているのが、最新のフラッグシップモデル「XRシリーズ」に搭載された技術群である。

技術的革新と特許のポイント：

- 蛍光フローサイトメトリー技術：シスメックスの核心技術である。半導体レーザーを用い、細胞に光を照射した際に得られる「前方散乱光(細胞の大きさ)」、「側方散乱光(細胞内部の構造)」、「側方蛍光(核酸の量)」の3つの情報を解析する。これにより、白血球の5分類(好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球)を高精度に行うだけでなく、幼若細胞や異常細胞の検出を可能にしている¹⁶。
- 3Dスキャッタグラム(3D Scatterplots)：XRシリーズにおける最大の進化点の一つが、細胞集団の3次元解析である。従来の2次元プロットでは重なり合って判別が困難だった細胞集団(例：異常リンパ球と芽球)を、3次元空間で回転・分離して表示・解析する技術であり、病理医の診断支援能力を飛躍的に向上させた³。関連特許は、この3次元データの処理アルゴリズムや表示方法を網羅している。
- 新規パラメータ(ACP/EIP)：従来のCBC(全血算)に加え、レチクロサイトヘモグロビン等量(RET-He)や未熟血小板比率(IPF)といった臨床的価値の高い独自パラメータを提供している。これらは貧血のタイプ診断や血小板減少症の鑑別診断に直結するため、医師にとってシスメックス機を選択する強力な動機となる²。
- 自動化ソリューション(Total Lab Automation)：検体搬送システム、自動塗抹標本作成装置(SP-50)、デジタル画像解析装置(DI-60)を物理的・情報的に結合し、検体到着から結果報告までの時間を大幅に短縮している(旗艦モデル導入前後で約19分から約11分へ短縮というデータがある)¹。

3.2 メディカルロボティクス：hinotori™ サージカルロボットシステム

川崎重工業との合弁会社メディカロイドが開発した「hinotori™」は、手術支援ロボット市場におけるダ・ヴィンチ(Intuitive Surgical社)の独占を崩すべく投入された戦略製品である。

技術的特異性と回避設計：

ダ・ヴィンチが保有する膨大な特許網を回避しつつ、独自の価値を出すために以下の技術が採用さ

れている。

- **8軸アーム構造**: 産業用ロボットのノウハウを活かし、人間の腕に近い動きを実現する8軸アームを採用。これにより、狭い手術空間でもアーム同士の干渉(コリジョン)を防ぎ、助手のためのスペースを確保する「省スペース性」を実現した。日本の狭い手術室事情に最適化された設計である⁴。
- **ピボットポイントのソフトウェア制御**: 最も重要な特許技術の一つが、トロカール(体壁に開けた穴)の位置(ピボットポイント)を機械的に固定せず、ソフトウェア制御で仮想的に設定する技術である。これにより、ドッキング作業が不要となり、セッティング時間を短縮するとともに、患者の体壁への負荷を軽減する⁴。
- **ネットワーク親和性**: 設計段階から商用5Gなどのネットワーク接続を前提としており、遠隔手術(Telesurgery)の実証実験でも低遅延での操作性が確認されている。これはシステムズのITインフラ技術と川崎重工のロボット制御技術の融合による成果である¹⁹。

市場展開状況:

2020年の泌尿器科での承認以降、消化器外科、婦人科、呼吸器外科へと適応を拡大。2023年にはシンガポールでの承認を取得し、グローバル展開の第一歩を踏み出した²⁰。

3.3 リキッドバイオプシー: 個別化医療の最前線

子会社Sysmex Inostics(ドイツ・ハンブルク)を中心に展開するリキッドバイオプシー事業は、侵襲性の高い組織生検(Tissue Biopsy)に代わり、血液中の循環腫瘍DNA(ctDNA)を解析する技術である。

主要技術プラットフォーム:

- **OncoBEAM™ (BEAMing法)**: 「Beads, Emulsion, Amplification, and Magnetics」の略。デジタルPCR技術を応用し、血中にごくわずかに存在する変異遺伝子を0.01%という極めて高い感度で検出する。特に大腸がんにおけるRAS遺伝子変異の検出において、抗EGFR抗体薬(セツキシマブ等)の適応判定に用いられるゴールドスタンダードとなっている²¹。
- **Plasma-Seq (SafeSEQ)**: 次世代シーケンサー(NGS)を用いたパネル検査。OncoBEAMが特定の変異を高感度に見るのに対し、SafeSEQはより広範な遺伝子パネルを解析し、治療モニタリングや再発検知に威力を発揮する²⁴。
- **AIとの融合**: 米国ジョンズ・ホプキンス大学との共同研究により、DNAの断片化パターン(フラグメントミクス)をAI(機械学習)で解析し、脳腫瘍などの難治性がんを早期発見する技術開発を進めている。この領域での特許出願も確認されており、将来的な競争力の源泉となる²⁵。

3.4 尿検査と薬剤耐性菌(AMR)対策: 破壊的イノベーション

2022年に買収したスウェーデンのAstrego Diagnostics(現Sysmex Astrego)が開発した「PA-100 ASTシステム」は、尿路感染症(UTI)の診断プロセスを一変させる破壊的イノベーションである。

技術的ブレークスルー:

- **マイクロ流体技術(Nanofluidics)**: スマートフォンサイズのカートリッジ内に数千の微細な流路(ナノチャンネル)を形成し、そこに細菌を1個ずつ捕捉する技術。
- **表現型解析による迅速判定**: 捕捉した細菌に抗生物質を曝露し、その成長挙動を位相差顕微

鏡でリアルタイムに画像解析する。従来、培養に数日かかっていた薬剤感受性試験(AST)を、わずか15分で菌の有無判定、30～45分で薬剤感受性判定まで完了させる²⁶。

- 社会的インパクト: これにより、患者がクリニックを訪れたその場で、適切な抗生物質を処方(Test & Treat)することが可能になり、無効な抗菌薬投与による耐性菌の出現を抑制できる。この技術は、英国の「Longitude Prize on AMR」を受賞するなど、国際的に極めて高い評価を受けている²⁶。

3.5 デジタルヘルスと情報プラットフォーム: Caresphere™

シスメックスの「サービサイゼーション(製造業のサービス化)」を支えるのが、クラウドプラットフォーム「Caresphere™」である。

機能と特許:

- **Caresphere SNCS (Sysmex Network Communication Systems):** 全世界の稼働機器をIoTで接続し、リアルタイムでモニタリングするシステム。機器のセンサーデータから故障の予兆を検知し、ダウンタイムが発生する前に部品交換を行う「予知保全」を実現している。この「世界中の同型機の稼働データを収集し、個々の機器の挙動と比較して異常を検知する」というメソッドは、米国特許(US6738748B2, US20030120462A1など)によって強力に保護されている²⁸。
- **Caresphere WS:** 検査室内のワークフローを管理するミドルウェア。検査ルールの標準化や自動検証機能を提供し、検査技師不足という社会的課題に対するソリューションとなっている³⁰。
- **情報セキュリティ:** 医療データを扱うため、ISO/IEC 27001(ISMS)認証を取得し、GDPRやHIPAAなどの各国の法規制に準拠した堅牢なセキュリティ体制を敷いている³¹。

4. 競合環境分析とベンチマーク

シスメックスは、巨大なコングロマリットが支配するIVD市場において、特定のニッチ(ヘマトロジー、凝固、尿)で圧倒的な強みを持つというユニークなポジションにある。

4.1 主要競合他社とのR&D比較(2024/2025年概算)

以下の表は、主要競合とのR&D投資規模と注力領域を比較したものである。

企業名	売上高規模 (概算)	R&D費用	R&D比率	主力領域	知財ポートフォリオ特徴
Sysmex	約5,086億円 (\$3.3B)	約314億円	~6.2%	ヘマトロジー、凝固、尿、ロボット	独自技術(血球計数、試薬管理)に特化した集中型

Roche (Diagnostic s)	CHF 14.3B (\$16B)	グループ全 体でCHF 13B	~22% (全 社)	免疫, 分子 診断, 病理	圧倒的な規 模。製薬部 門との連携 によるCDx が強み ³³
Abbott (Diagnostic s)	\$42.0B (全 社)	\$2.8B (全 社)	~6.7%	免疫, POCT, 糖尿病 (CGM)	迅速診断 (Alere)とセ ンサー技術 に強み ³⁴
Beckman Coulter (Danaher)	\$9.8B (Dx部 門)	\$1.6B (Dx部 門)	~6.7%	ヘマトロ ジー, 生化 学, フローサ イト	シスメックス と競合関係 強。過去に IP訴訟あり ³⁵

分析的インサイト:

- 規模の非対称性と効率性: ロシュやアボットは売上規模でシスメックスを圧倒しているが、シスメックスはヘマトロジーという特定領域にリソースを集中投下することで、この分野における技術的リーダーシップを維持している。
- IP戦略の違い: ロシュは製薬と診断のシナジーを最大化する広範な特許網を持つ一方、シスメックスは「機器+試薬+サービス」のエコシステム全体を守ることに特化している。特に、Beckman Coulterとは過去に特許侵害訴訟(デラウェア州地裁、特許番号'350など)があったが、2022年に和解・取り下げに至っており、相互の特許の壁が高いレベルで拮抗していることが推測される³⁶。

4.2 競合の動向

- Beckman Coulter:** フローサイトメトリー技術に強みを持ち、Dxi 9000などの免疫分析装置で高感度化を進めている。シスメックスとはヘマトロジー分野で直接競合するが、シスメックスの強みである「凝固・免疫・尿」を含めたフルラインナップ戦略に対しては、部分的な競合に留まる傾向がある³⁵。
- Roche Diagnostics:** 分子診断(PCR)と免疫検査における巨人。特にcobasシリーズによる自動化と、がん領域でのコンパニオン診断薬の展開において強力なライバルである。シスメックスはロシュに対し、OEM供給(尿検査装置など)を行う一方で、免疫分野ではHISCLシリーズで競合するという、協力と競争が入り混じった関係にある³³。

5. 特許ポートフォリオの詳細分析

5.1 特許保有状況(2024年時点)

シスメックスの特許ポートフォリオは、事業のグローバル展開に合わせて戦略的に構築されている。

- 総保有件数：グローバルで約7,677件（登録済み約4,861件）³⁸。
- 地域別分布：
 - 日本（約2,385件）：マザー工場とR&Dセンターがあるため、基本特許から製造ノウハウまで最も厚い。
 - 米国（約1,528件）：世界最大の市場であり、訴訟リスクも高いため、防衛的な特許網を構築。AIやソフトウェア関連の出願も多い。
 - 欧州（約1,158件）：リキッドバイオプシー（ドイツ）やAMR（スウェーデン）の拠点があり、先端医療技術の出願が目立つ。
 - 中国（約1,080件）：現地生産拡大に伴い、模倣品対策としての特許および実用新案の出願を強化している³⁸。

5.2 注目すべき特許クラスター

1. 試薬管理システム（Reagent Management）：
 - 特許（例：CN106053864A, US20050084426A1）は、試薬ボトルの開封後の安定性（Open Container Stability）と残テスト数を計算し、自動で試薬調製や発注を行うシステムをカバーしている。これにより、ユーザーの利便性を高めると同時に、他社試薬の入り込む隙間をなくしている¹²。
2. 粒子解析技術（Particle Analysis）：
 - シースフロー形成技術やレーザー光学系のアライメント技術に関する特許（例：US6353750B1）は、被引用数が非常に多く（300回以上）、業界の標準技術として認知されていることがわかる³⁸。
3. 遠隔監視・予兆検知（Remote Monitoring）：
 - SNCS/Caresphereの根幹となる「ピアグループ比較（Peer Group Comparison）」技術に関する特許（例：US20030120462A1）。個々の装置のデータを、世界中の同型機の平均値と比較して偏りを検知する手法は、シスメックスのサービス品質を支える独占的技術である²⁹。
4. AI診断支援（AI Diagnosis）：
 - 近年出願が増加しているのが、ディープラーニングを用いた画像解析特許（例：US20230419696A1）。細胞核の領域を特定し、がん細胞などの異型性を自動判定する技術であり、デジタルパレロジー分野への布石となっている³⁹。

6. 財務分析と株主還元

6.1 2024-2025年度の財務パフォーマンス

シスメックスの業績は、パンデミック後の医療需要の回復と為替効果により拡大基調にある。

- 売上高構成：機器（Instrument）の売上は単発だが、一度設置されれば試薬（Reagent）とサービス（Service）の売上が継続する。2025年3月期において、試薬売上は現地通貨ベースでも二桁成長しており、ビジネスモデルの健全性を示している⁶。

- 利益率の改善：営業利益率は17-18%台で推移しているが、会社側は20%超を目指している。そのための施策として、試薬原材料の内製化(コストダウン)や、デジタル化によるSG&A費用の効率化が進められている⁴⁰。

6.2 株主還元方針

- 配当政策：システムズは「累進配当」の方針を明確にしており、連結配当性向の目標を従来の30%から、2026年3月期より**40%**へと引き上げることを発表した⁴¹。これは、成長投資と株主還元のバランスを重視する経営姿勢の表れである。
- 株式分割：2024年4月1日付で1株を3株に分割した。これにより投資単位を引き下げ、個人投資家層の拡大を図っている⁴³。

7. ESGとサステナビリティ・情報セキュリティ

7.1 環境への取り組み(Eco-Social)

システムズは、製品ライフサイクル全体での環境負荷低減を進めている。

- 濃縮試薬(RU-20)：従来の大容量試薬タンクに代わり、25倍濃縮試薬を用時希釈するユニット「RU-20」を開発。これにより、試薬容器のプラスチック廃棄物と輸送にかかるCO2排出量を劇的に削減した。これは環境対応であると同時に、病院の在庫スペース削減という顧客メリットにも直結する優れた技術経営事例である⁴⁴。

7.2 情報セキュリティとデータガバナンス

ヘルスケアデータを扱う企業として、信頼性は生命線である。

- ISO 27001認証：システムズ本体および主要海外子会社(欧州、ニュージーランド等)は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際規格であるISO/IEC 27001の認証を取得している³¹。
- データ消去とプライバシー：機器廃棄時のデータ消去にはBlanccoなどの認定ソフトウェアを使用し、GDPR(欧洲一般データ保護規則)やHIPAA(米国医療保険相互運用性と説明責任に関する法律)への準拠を徹底している⁴⁵。

8. 戦略的結論と今後の展望

8.1 「堀(Moat)」の質の変化

システムズの競争優位性は、かつての「精巧なメカニズム(ハードウェア)」による参入障壁から、「接続性・試薬特異性・AIによる意味付け(ソフトウェア/データ)」による複合的な参入障壁へと進化している。Caresphereによるエコシステム化は、顧客のスイッチングコストを高め、コモディティ化を防ぐ防波堤として機能している。

8.2 成長エンジンの着火

- ロボティクス: Hinotoriは日本国内での実績を積み重ねており、今後は東南アジア、そして将来的には欧米市場への展開が鍵となる。特許戦略としては、競合(Intuitive社)の特許切れを狙いつつ、独自のピボット制御技術で差別化を図るアプローチが奏功している。
- AMR対策: Astregoの獲得は、シスメックスの事業領域を「検査室(Central Lab)」から「診療所(Primary Care)」へと拡大するゲームチェンジャーとなる可能性がある。迅速診断による適切な抗菌薬処方は、世界的な公衆衛生課題解決への直接的な貢献であり、社会的価値と経済的価値が一致する領域である。

8.3 リスクと課題

- 地政学リスク: 中国市場への依存度は依然として高い。中国政府のVBP(帶量採購:集中購買による価格引き下げ政策)や「Buy China」政策に対し、現地生産の拡大で対応しているが、利益率への圧力は継続するだろう。
- 知財紛争リスク: AIやリキッドバイオプシー領域では、異業種やスタートアップを含めた特許出願が乱立しており、意図せぬ侵害リスク(パテント・トロール含む)への警戒が必要である。

8.4 結論

シスメックスは、典型的な「技術主導型コンパウンダー(複利成長企業)」である。派手なM&Aに頼るのではなく、自社のコア技術(ヘマトロジー)を深掘りしつつ、隣接領域(ロボット、遺伝子)へ慎重かつ大胆に染み出す戦略は、極めて整合性が高い。経営層にとっては、既存事業のキャッシュフローを原資に、次の10年を支える「デジタル×バイオ×ロボット」の融合領域へ、いかにリソース配分を最適化し続けるかが最大の経営テーマとなるだろう。

報告者:

チーフ・ストラテジー・アナリスト
グローバル技術経営コンサルティンググループ
2026年1月13日

9. 付録: 詳細データテーブル

9.1 シスメックスの特許ポートフォリオ(地域別・2024/2025年概算)

地域	保有特許数(概算)	戦略的焦点
日本	2,385	マザーワーク場・R&D拠点保護、 基本技術、製造プロセス

米国	1,528	最大市場の防衛、AI・ソフトウェア、訴訟対策
欧州	1,158	GDPR対応、リキッドバイオシー(独)、AMR(スウェーデン)
中国	1,080	模倣品対策、現地生産技術の保護、実用新案活用
その他	~1,500	インド・ブラジル等の新興国市場カバレッジ
合計	~7,677	
(データ出典: ³⁸⁾		

9.2 主な戦略的提携とM&A(2020-2025)

パートナー/対象企業	形態	領域	戦略的意図	現況
メディカルロイド (川崎重工)	合弁会社	手術支援ロボット	治療領域への参入(Hinotori)。産業用ロボット技術の医療応用	日本・シンガポールで商用化
ThinkCyte	出資・共同開発	AIフローサイトメトリー	「ゴーストサイトメトリー」技術による高速細胞選別・解析	共同開発進行中、製品化へ
Astrego Diagnostics	買収 (100%)	尿検査・AMR	プライマリケア向け迅速薬剤感受性試験(POCT)	Sysmex Astregoとして製品上市、賞受賞

JVCケンウッド	協業	エクソソーム	エクソソーム測定技術(Creative Nanosystems)の開発	開発フェーズ ⁴⁶
Siemens Healthineers	OEM供給	凝固・免疫	凝固分野での相互OEMによるグローバルシェア拡大	長期的パートナーシップ継続

9.3 財務ハイライト(2024年度実績 & 2025年度予想)

指標	2024年度実績(億円)	2025年度予想(億円)	前年比成長率
売上高	4,615	5,086	+10.2%
営業利益	783	875	+11.7%
研究開発費	314	314	0.0%
研究開発費率	6.8%	6.2%	-0.6%
年間配当	28円(分割調整後)	32円	+14.3%

(注記: データは⁶より抽出。2025年度予想は中間期時点の修正値を反映)

引用文献

1. Sysmex Report 2025, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/ir/library/annual-reports/Sysmex_Report_2025_e_A4.pdf
2. XR-Series | Sysmex, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex-ap.com/wp-content/uploads/2024/09/XR-Series-ebook.pdf>
3. Evaluating the Performance of the New Sysmex XR-Series Haematology Analyser: A Comparative Study with the Sysmex XN-Series - ResearchGate, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.researchgate.net/publication/389870114_Evaluating_the_Performance_of_the_New_Sysmex_XR-Series_Haematology_Analyser_A_Comparative_Stud...with_the_Sysmex_XN-Series

4. hinotori Surgical Robot System, the First Made- in-Japan Robotic-Assisted Surgery System - Kawasaki Heavy Industries, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://global.kawasaki.com/en/corp/rd/magazine/183/pdf/n183en03.pdf>
5. Astrego Diagnostics AB Becomes Wholly-owned Sysmex Subsidiary through the Acquisition of Outstanding Shares - Interface nationale ANTIBIORÉSISTANCE, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://ppr-antibioresistance.inserm.fr/fr/informations-et-communications/actualites/astrego-diagnostics-ab-becomes-wholly-owned-sysmex-subsidiary-through-the-acquisition-of-outstanding-shares/>
6. Business Results Fiscal Year Ended March 31, 2025, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/ir/library/quarter/250514_pr_e.pdf
7. Summary of Consolidated Financial Results for the First Six Months (Semi-Annual Period) of the Fiscal Year Ending March 31, 2025, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/news/2024/pdf/241106_fr_e.pdf
8. Mid-Term Management Plan and Initiatives, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/ir/library/annual-reports/AR2024e_3.pdf
9. Mid-Term Management Plan and Initiatives, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/ir/library/annual-reports/AR2025e_4.pdf
10. Intellectual Property Activities | Research & Development | Sysmex, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex.co.jp/en/rd/ip/>
11. Intellectual Property Activities that Accelerate R&D | Research & Development | Sysmex, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex.co.jp/en/rd/ip/detail02/>
12. CN106053864A - Reagent management system - Google Patents, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://patents.google.com/patent/CN106053864A/en>
13. US20050084426A1 - Reagent cassette and automatic analyzer using the same - Google Patents, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://patents.google.com/patent/US20050084426A1/en>
14. Patents Assigned to Sysmex Corporation, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://patents.justia.com/assignee/sysmex-corporation>
15. Intellectual Property Activities that Protect Business Models | Research & Development, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex.co.jp/en/rd/ip/detail01/>
16. XR-2000 - Sysmex Russia, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex-rus.com/product/xr-2000/?lang=en>
17. Sysmex XR-Series-ebook | PDF | Lymphocyte | Automation - Scribd, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.scribd.com/document/808968720/sysmex-XR-Series-ebook>
18. Hinotori Robotic System - Sysmex, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex-ap.com/product/hinotori-robotic-system/>
19. Establishment of a new practical telesurgical platform using the hinotori™ Surgical Robot System: a preclinical study - NIH, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC9562055/>
20. hinotori - Head and Neck Robotic Surgery, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://headneckroboticsurgery.com/hinotori/>
21. Sysmex Inostics' OncoBEAM™ Liquid Biopsy Technology Demonstrates Utility for Clinical Management of Melanoma Patients Undergoing Treatment With Targeted

- Therapy and Immune Checkpoint Inhibitors - BioSpace, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.biospace.com/sysmex-inostics-oncobeam-liquid-biopsy-technology-demonstrates-utility-for-clinical-management-of-melanoma-patients-undergoing-treatment-with-targeted-therapy-and-immune-checkpoint-inhibitors>
22. Sysmex Obtains First Manufacturing and Marketing Approval in Japan for Blood-Based RAS Gene Mutation Testing for Colorectal Cancer, 1月 12, 2026にアクセス、<https://www.sysmex.co.jp/en/news/2019/190802.html>
23. Merck and Sysmex Inostics Receive CE Mark Approval for Liquid Biopsy Test for Colorectal Cancer Patients, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.merckgroup.com/press-releases/2016/apr/en/Merck_Sysmex_LiquidBiopsyTest_PR_EN050416_EN.pdf
24. Sysmex Inostics Launches Two NGS-based Liquid Biopsy Panels For Cancer Therapy Drug Development, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.drugdiscoveryonline.com/doc/sysmex-inostics-launches-two/ngs-based-liquid-biopsy-panels-cancer-therapy-drug-development-0001>
25. AI-Based Liquid Biopsy Shows Promise for Detecting Brain Cancer - OneNeuro Initiative, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.oneneurojhu.org/2025/07/21/ai-based-liquid-biopsy-shows-promise-for-detecting-brain-cancer/>
26. After Decade-Long Global Competition, Sysmex's Subsidiary, Astrego, Wins €8M Prize for a Rapid Test to Identify and Treat Urinary Tract Infections - Dark Daily, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.darkdaily.com/2025/02/03/after-decade-long-global-competition-sysmexs-subsidiary-astrego-wins-e8m-prize-for-a-rapid-test-to-identify-and-treat-urinary-tract-infections/>
27. Sysmex Launches World's First Point-of-Care Testing System in Europe to Detect Antimicrobial Susceptibility in Just 30 Minutes, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex.co.jp/en/news/2023/230626.html>
28. US6738748B2 - Performing predictive maintenance on equipment - Google Patents, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://patents.google.com/patent/US6738748B2/en>
29. US20030120462A1 - Method of evaluating performance of a hematology analyzer - Google Patents, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://patents.google.com/patent/US20030120462A1/en>
30. Caresphere™ Workflow Solution (WS) - Sysmex, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.com/-/media/project/sysmex/sysmex/documents/brochures/carespherews-brochure_en.pdf?sc_lang=en-us
31. Enhancing Information Security | Sustainability | Sysmex, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex.co.jp/en/csr/governance/informationsecurity/>
32. Sysmex New Zealand achieves ISO 27001 certification, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.sysmex-ap.com/sysmex-new-zealand-achieves-is0-27001-certification-2/>
33. [Ad hoc announcement pursuant to Art. 53 LR] Roche reports strong 2024 results with 7% sales growth; fourth quarter marks third straight quarter of 9% growth, 1月 12, 2026にアクセス、

https://www.roche.com/investors/updates/inv-update_2025-01-30

34. Abbott-2024-Global-Sustainability-Report-June-2025.pdf, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.abbott.com/content/dam/corp/abbott/en-us/documents/pdfs/abbott-citizenship/Abbott-2024-Global-Sustainability-Report-June-2025.pdf>
35. 2024 Overview - Danaher Corporation, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.danaher.com/sites/default/files/2025-04/danaher-overview-presentation_2024_web.pdf
36. 19-1642 - Sysmex Corporation et al v. Beckman Coulter, Inc. - Content Details -- GovInfo, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.govinfo.gov/app/details/USCOURTS-ded-1_19-cv-01642
37. SYSMEX CORPORATION v. BECKMAN COULTER, INC. , No. 22-1715 (Fed. Cir. 2022), 1月 12, 2026にアクセス、
<https://law.justia.com/cases/federal/appellate-courts/cafc/22-1715/22-1715-2022-10-19.html>
38. Sysmex Patents – Key Insights and Stats, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://insights.greyb.com/sysmex-patents/>
39. Sysmex in artificial intelligence: Theme innovation strategy - Medical Device Network, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.medicaldevice-network.com/data-insights/sysmex-in-artificial-intelligence-theme-innovation-strategy/>
40. To-Be: Sysmex's Value Creation, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/ir/library/annual-reports/AR2025e_3.pdf
41. Dividends | Investor Relations | Sysmex, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/ir/stocks_bonds/dividends.html
42. Sysmex Announces Changes from Financial Forecasts and Year-End Dividend for the Fiscal Year Ended March 31, 2025, 1月 12, 2026にアクセス、
https://www.sysmex.co.jp/en/news/2025/pdf/250514_01.pdf
43. SYSMEX CORP To Carry Out 3-for-1 Stock Split On March 28th, 2024 - Moomoo, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.moomoo.com/news/post/33566826/sysmex-corp-to-carry-out-3-for-1-stock-split>
44. RU-20™ Reagent Unit Hematology Analyzer | Sysmex America, 1月 12, 2026にアクセス、<https://www.sysmex.com/en-us/lab-solutions/hematology/xn-series/ru-20>
45. Sysmex Asia Pacific Achieves Data Protection Compliance in 3 Months - Blancco, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://blancco.com/case-studies/cs-sysmex-asia-pacific-achieves-data-protection-compliance-in-3-months/>
46. Sysmex Corp: Deals - GlobalData, 1月 12, 2026にアクセス、
<https://www.globaldata.com/company-profile/sysmex-corp/deals/>